

# 広報むなかた むなかた タウンプレス

宗像市公式ホームページ  
<http://www.city.munakata.lg.jp/>  
宗像市公式フェイスブック  
<https://www.facebook.com/munakata.city>  
メールアドレス  
koho@city.munakata.fukuoka.jp

発行: 宗像市  
〒811-3492 福岡県宗像市東郷1-1-1  
代表: 総務課  
☎0940-36-1121 FAX 0940-37-1242  
編集: 秘書政策課広報報道担当  
☎0940-36-1055 FAX 0940-37-1242

毎月1日・15日発行

今月の紙面から

## 平成28年4月15日号

世界遺産Q&A、「ふるさとから世界遺産を！」	2
住むのにいいトコ宗像市!	2
宗像市読書のまちづくり推進計画、「としょかんへ行こう」	3
光化学オキシダント(スモッグ)、PM2.5、黄砂に注意	5
第1回宗像グローバル・ネットワーク座談会	6
宗像ゆかりの芸術家の作品に触れてみませんか	8
平成28年度おすすめ講座の案内、「メッセージ」	9
電力の小売自由化、「転ばぬ先の杖」	10
身近に潜む糖尿病、「健康むなかた21」	11



あなたの手助けが必要です。  
ヘルプカード  
福岡県  
ヘルプカードはじめました (7ページ)

1・2	2・3	4~11	12
行政	学びの里	お知らせ	カレンダー



稲元八幡宮の万延元年桜下武者図絵馬

**海**の道むなかた館は、開館から5年目を迎え、地域の暮らしや宗像遺産に焦点を当てた展示を企画。今年、釣川中流域の稲元八幡宮と地域遺産。発掘調査で出土した弥生時代から古墳時代の遺物、解体された稲元八幡宮拝殿の建築部材や絵馬などを展示し、石造物などの写真パネル紹介や、川祭りの様子を復元展示します。新修宗像市史の編さん事業の調査成果と併せて、今後も継続して実施する予定です。入場無料。

● 期間 4月26日(火) ~ 6月12日(日)

● 月曜日は休館

● 場所 海の道むなかた館・常設展示室 (企画展示ブース)



## 春の特別展 稲元八幡宮と 地域遺産

### 「稲元」の名前の由来

稲元は、現在の稲元・城西ヶ丘1〜6丁目の範囲です。釣川の中流右岸を中心とし、左岸側の川沿いも稲元になります。「稲元」という名称の最も古い記述は、仁平4(1154)年銘の滑石製経筒外面に刻まれた「稲本」です。応永5(1398)年の文書にも「稲本村」とあり、平安時代から戦国時代にかけては、「稲本」の名称が使われていたことが分かります。宗像大社蔵の天正6(1578)年銘置札には、「稲元村」が見えることから、江戸時代以



稲元八幡宮拝殿の鬼瓦・軒丸瓦

## たにい ブログ・フォト日記

市HP <http://www.city.munakata.lg.jp/>でも、市長ブログを紹介しています。  
■ 問い合わせ先  
秘書政策課秘書担当 ☎(36)0890



鐘崎天然とらふくフェアで地元の魚のおいしさをPR

2月11日、東京国立博物館で「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群のシンポジウムが開催されました。シンポジウムでは、海の道むなかた館の西谷館長をはじめ、専門家会議の先生らが一堂に会して、同遺産群の価値について300人以上の参加者を前に、活発な議論を交わしました。その後、明治記念館に場所を移して「鐘崎天然とらふくPRイベント」を実施。築地の「やま称」など有名料亭や多くの料理店をはじめ、企業やマスコミなど大勢の関係者約150人の参加があり、「とらふく」のPR売り込みはとても盛況でした。私も、「とらふく」だけではなく、大漁に水揚げさ

た。シンポジウムでは、海の道むなかた館の西谷館長をはじめ、専門家会議の先生らが一堂に会して、同遺産群の価値について300人以上の参加者を前に、活発な議論を交わしました。その後、明治記念館に場所を移して「鐘崎天然とらふくPRイベント」を実施。築地の「やま称」など有名料亭や多くの料理店をはじめ、企業やマスコミなど大勢の関係者約150人の参加があり、「とらふく」のPR売り込みはとても盛況でした。私も、「とらふく」だけではなく、大漁に水揚げさ



稲元日焼原遺跡出土の土馬

### 稲元の移り変わり

今から約2200年前、弥生時代の稲元久保遺跡(現河東中学校)から穀物貯蔵穴や素掘りの墓が発掘調査され、谷あいに小規模なムラが営まれていました。古墳時代に入ると、1600年前の稲元久保遺跡に鏡、玉を副葬した前方後円墳が築かれ、その後1000年後には、宗像地域で最も古い須恵器窯跡である稲元日焼原遺跡(現城西ヶ丘)が営まれ、

記録では、農作物の生産高は843石余りでした。1700年代には、大規模な釣川改修が実施されて現在の姿となり、流域の農業生産力が向上して、生産高は1278石になりました。近代の稲元は、明治4(1871)年の区制で筑前34区うちの第7区となり、明治5(1872)年の大区小区制度で、宗像郡は第4大区に編成され、稲元村、河東村、田礼村、池浦村は第16小区となりました。(文化財職員・原俊一)

問い合わせ先  
郷土文化課  
☎(62) 2600